

教育委員会定例会（平成30年9月）会議録

1 日 時	平成30年9月5日（水）15:00～16:10
2 場 所	新居浜市子ども発達支援センター2階 会議室
3 出 席 者	教 育 長 関 福生 委 員 宮内 文久 伊藤 嘉秀 近藤 智佳 本田 郁代 事務局長 加藤 京子 戦 略 監 榎木 奨悟 総括次長 桑原 一郎 次 長 田中 利季 曾我 幸一 高橋 利光 横井 邦明 課 長 高橋 正弥 井上 毅 安藤 寛和
4 教育長及び 教育委員会事業報告	8月事業報告及び9月事業予定について その他
5 記録者氏名	社会教育課 近藤 岳詩
	<p><教育長一般報告></p> <p><報告></p> <p>報告第4号 専決処分の報告について（平成30年度補正予算〔第2号〕の議案送付について）</p> <p><いじめ、不登校等生徒指導関係></p> <p><その他></p> <p>(1) 平成29年度決算について</p> <p>(2) 「子どもを対象とした公募型美術展 にいはまSDGsアート・フェスティバル」企画（案）について</p> <p>(3) 小・中学校給食費の見直しについて</p> <p>(4) 平成30年度第55回新居浜市小・中学校ふれあい運動会のご案内について</p> <p>(5) 新居浜市立王子幼稚園、神郷幼稚園の今後の方向性について</p>

<p>関教育長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成30年第9回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は宮内委員さんと近藤委員さんをお願いいたします。なお会期は本日限りといたします。</p> <p>平成30年第8回会議録については、本田委員さん、宮内委員さんに署名をいただいております。</p> <p>それでは私の方から一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>8月 6日 人権・同和教育講演会（市民文化センター） 8日 第2回小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会（市民文化センター） 11日 新居浜ユネスコ協会主催『平和の鐘を鳴らそう』事業（イオンモール新居浜） 21日 「工都新居浜市80年の歩みから見えてくるもの」展 開展式（図書館）</p> <p>9月 2日 市PTA連合会レクバレーボール大会（市民体育館、東中） 東予合唱フェスティバル（市民文化センター） 4日 市議会定例会本会議（・21日） 6日 中央教育審議会（東京都） 11日 市議会定例会本会議一般質問（～13日） 14日 福祉教育委員会 26日 第1回SDGsアート・フェスティバル実行委員会（あかがねミュージアム）</p> <p>社会教育課の事業は、 8月 9日 教育委員会定例会（第8回） 22日 公民館職員研修会（地域交流センター） 9月 5日 教育委員会定例会（第9回） 30日 校区運動会（金栄）</p> <p>学校教育課の事業は、 8月 2日 ESDワーキンググループ会議（市庁舎）</p>
-------------	---

	<p>6日 人権・同和教育講演会（市民文化センター）</p> <p>7日 コミュニティ・スクール研修会（市民文化センター）</p> <p>8日 第2回小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会（市民文化センター） 中学生国際交流アメリカ訪問団帰着式（市庁舎）</p> <p>9日 全国中学校体育大会壮行式（市民文化センター）</p> <p>20日 中学生国際交流アメリカ訪問団研修会（市民文化センター）</p> <p>22日 第5回あかがね算数・数学コンテスト （市民文化センター、文化振興会館）</p> <p>27日 第2回通学路安全対策協議会（市民文化センター）</p> <p>9月 1日 中学生国際交流アメリカ訪問団事後研修会（新居浜高専）</p> <p>2日 市PTA連合会レクバレーボール大会（市民体育館、東中）</p> <p>3日 公立幼稚園、小・中学校第2学期始業式</p> <p>9日 別子小・中学校運動会</p> <p>16日 中学校運動会（別子中、ひびき分校を除く）</p> <p>28日 中学生英語スピーチコンテスト（市民文化センター）</p> <p>スポーツ振興課の事業は、</p> <p>8月 1日 第2回あかがねマラソン エントリー受付開始</p> <p>2日 JFAフットボール フューチャープログラム トレセン研修会U-12（グリーンフィールド新居浜）（～5日） 第19回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会出場者 市長報告会（市庁舎市長応接室） （出場者：船木小学校児童1名、中萩JBC所属四国中央市在住者1名）</p> <p>4日 愛媛FCホームゲーム マッチシティ（新居浜市の日） （松山市：ニンジニアスタジアム）（対戦相手：レノファ山口） 2対0で愛媛FC勝利</p> <p>5日 新居浜市少年スポーツ大会 （ミニバスケットボール）（山根総合体育館）</p> <p>7日 第34回全国小学生陸上競技交流大会出場者 市長報告会 （市庁舎市長応接室）（出場者：泉川小学校児童1名〈走り幅跳び〉） 第18回全日本中学生男女ソフトボール大会出場 市長報告会 （市庁舎大会議室）（出場チーム：東中学校女子ソフトボール部）</p> <p>9日 バレーボール新居浜クラブ全国大会出場 市長報告会 （市庁舎市長応接室）</p> <p>10日 東雲市民プールを福祉プールとして開放（東雲市民プール） 参加者：60人</p>
--	---

	<p>11日 武道体験フェスタ in 東予 (山根総合体育館) 参加者数: 300人</p> <p>18日 第21回中国・四国地区小学生男女ソフトボール交歓大会 (国領川河川敷グラウンド) (・19日)</p> <p>21日 JOCジュニアオリンピックカップ第11回全日本ジュニアテコンド ー選手権大会入賞者 市長報告会 (市庁舎市長応接室) (キョルギ種目小学4年女子33kg 超級: 松岡風羽さん 優勝) (キョルギ種目小学4年男子33kg 超級: 千葉雄太くん 3位)</p> <p>22日 第4回体力づくり指導者講習会 (市民文化センター)</p> <p>28日 第19回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会優勝市長報告会 (市庁舎市長応接室) (優勝者: 中萩JBC所属四国中央市在住者1名) 平成30年度第1回新居浜市銅山の里自然の家運営協議会 (市庁舎応接会議室)</p> <p>31日 グラウンドゴルフ大会 (山根市民グラウンド) 東雲市民プール 平成30年度使用期間満了</p> <p>9月 8日 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 (市営野球場) (対戦相手: 徳島インディゴソックス)</p> <p>13日 ふくい国体出場者壮行会 (市民文化センター視聴覚室) 第5回体力づくり指導者講習会 (市民体育館)</p> <p>15日 第23回新居浜ライオンズクラブ旗争奪小学生バレーボール大会 (市民体育館)</p> <p>17日 新居浜市少年スポーツ大会 (ソフトボール) (国領川河川敷グラウンド)</p> <p>29日 トップアスリート事業 (バドミントン) (市民体育館) (・30日)</p> <p>文化振興課の事業は、</p> <p>8月 4日 ハロー ワンピース展 (あかがねミュージアム) (～9/2)</p> <p>8日 デジタル地球儀等寄贈式 (あかがねミュージアム) (住友化学株式会社様より)</p> <p>18日 瀬戸フィルハーモニー交響楽団「ふれあい音楽教室」(年長～高校生) (市民文化センター大ホール)</p> <p>19日 新居浜コンサート協会 40周年記念「オーケストラとの協演」 (市民文化センター大ホール) 「ふるラボプロジェクト」～博物館をつくろう 開講 (ふるさとラボ) (2月までに7回開催予定 指導: 愛媛大学 徳田明仁 准教授)</p> <p>22日 第1回 芸術文化振興計画策定委員会 (市庁舎大会議室)</p> <p>9月 15日 日暮別邸移築記念特別企画展「至宝の中国古銅器」 (あかがねミュージアム) (～11/4)</p>
--	--

	<p>(※15日 開会式・記念講演会 (泉屋博古館副館長 廣川 守氏))</p> <p>25日 第2回芸術文化振興計画策定委員会 (市民文化センター会議室)</p> <p>26日 第1回SDGsアート・フェスティバル実行委員会 (あかがねミュージアム)</p> <p>発達支援課の事業は、</p> <p>8月 2日 特別支援教育相談会 (こども発達支援センター) 第2回教育支援委員会 (こども発達支援センター)</p> <p>7日 前期発達支援スキルアップ連続講座 (工業高等専門学校) (・8日) (愛媛大学付属特別支援学校校長 吉松靖文氏)</p> <p>21日 第1回特別支援学級担任者役員会</p> <p>24日 第2回教育支援相談員会 (こども発達支援センター) 発達障がい支援者のための実践セミナー (こども発達支援センター) (台風接近による延期分)</p> <p>30日 第3回教育支援委員会 (こども発達支援センター)</p> <p>9月 5日 第2回特別支援学級担任者会 (市民文化センター)</p> <p>19日 第3回通級指導教室担当者会 (こども発達支援センター)</p> <p>26日 第55回小・中学校ふれあい運動会 (市民体育館)</p> <p>学校給食課の事業は、</p> <p>8月21日 中学校給食献立検討委員会 (泉川公民館)</p> <p>23日 栄養教員部新規献立調理実習試食会 (泉川公民館) 8月栄養教員部研修会 (泉川公民館)</p> <p>9月 4日 2学期給食開始 (学校給食センターは5日～)</p> <p>8日 9月栄養教員部研修会 (学校給食センター)</p> <p>20日 学校給食運営審議会 (学校給食センター)</p> <p>別子銅山記念図書館の事業は、</p> <p>夏 休 み 「学習スペース」の設置</p> <p>8月 3日 ブックスタート事業 保健センター5カ月児健康相談</p> <p>8月26日 第60回子ども読書週間イベント「子ども読書通帳マラソン！」表彰式 (受付期間：4/22～8/19)</p> <p>9月 4日 ブックスタート事業 保健センター5カ月児健康相談</p> <p>○お話し会</p> <p>8月 2日 乳幼児向けお話し会 子ども40名、大人35名</p> <p>8日 幼児向けお話し会 子ども8名、大人4名 (保育園の部はお休み)</p>
--	--

	<p>18日 小学生向けお話し会</p> <p>22日 幼児向けお話し会</p> <p>9月 6日 乳幼児向けお話し会</p> <p>13日 幼児向けお話し会</p> <p>15日 小学生向けお話し会</p> <p>19日 幼児向けお話し会</p> <p>○講座・講演会</p> <p>9月 2日 ココロとカラダの健康セミナー第1回「姿勢シャキーン！おやこ体操」 (10:00～11:30 小中学生親子対象)</p> <p>9日 別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」 第3回「別子300年のあゆみ」(10:00～11:30 定員80名)</p> <p>11日 図書館・銀行タイアップセミナー「知らないと損をする！定年前後のお金のはなし 年金編」(10:00～11:00)</p> <p>○夏休みは図書館へいこう！！</p> <p>8月 1日 夏休み子ども図書館探検隊スライムを作っておもしろ科学実験！ (講師：愛媛県総合科学博物館学芸員 進悦子) (参加：小学生35名 保護者26名)</p> <p>10日 夏の夜のちょっとこわいおはなし会と・・・夜の図書館たんけん (対象：子どもから大人まで(幼児・児童は保護者同伴)) (※夜の図書館たんけんは、年長～小学3年生まで) (こわいおはなし会参加：子ども59名 大人43名)</p> <p>○テーマ展示</p> <p>8月 一般展示・・・没後200年企画『伊能忠敬と様々な「地図」』 児童展示・・・『夏休み応援！』</p> <p>9月 一般展示・・・『命を守る ～災害に備えよう～』 児童展示・・・『身近なところからエコしませんか』</p> <p>○ケース展示</p> <p>8月 『伊能忠敬と伊能図』</p> <p>9月 『災害に備えよう』</p> <p>○ロビー展</p> <p>8月 1日 『原爆パネル展』(図書館) (～8/30)</p> <p>3日 『男女共同参画週間パネル展』(男女共同参画課) (7/28～)</p> <p>『できる人は自分の身体を知っている』(保健センター) (～8/10)</p> <p>28日 『スマホが与える子どもへの害』(保健センター) (～9/7)</p> <p>9月19日 『みんなで守ろう新居浜市の救急医療体制』(保健センター) (～9/25)</p> <p>○企画展(多目的ホール)</p>
--	---

<p>桑原総括次長兼文化振興課長</p>	<p>8月21日 「工都新居浜市80年の歩みから見えてくるもの」展絆で繋ぐ過去・現在・未来創造ステージ（主催：「工都新居浜市80年の歩みから見えてくるもの」展実行委員会 共催：新居浜市教育委員会、新居浜商工会議所）</p> <p>○夏休み児童クラブ出前講座</p> <p>8月 6日 たんぼぼクラブ1・2（金栄小学校）子ども60名、大人6名 17日 なかよしクラブ（新居浜小学校）子ども35名、大人3名 29日 かがやきクラブ1・2（金子小学校）</p> <p>ただ今の教育長一般報告について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは次に、報告に移ります。報告第4号「平成30年度補正予算〔第2号〕の議案送付について」事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>報告第4号 専決処分いたしました「平成30年度新居浜市一般会計補正予算(第2号)の議案送付」について御説明を申し上げます。</p> <p>議案書別冊の2ページ、3ページを御覧ください。</p> <p>本議案は9月4日開会の平成30年第4回新居浜市議会定例会議案として上程されました「平成30年度新居浜市一般会計補正予算(第2号)」のうち、教育関係予算に係るものでございます。</p> <p>それでは補正予算の内容について、別にお配りしています冊子「平成30年度補正予算書及び予算説明書」に沿って御説明申し上げます。予算書の3ページをお開きください。</p> <p>第1表 歳入歳出予算補正のうち、歳出についてでございます。 表の一番下、第10款 教育費の欄を御覧ください。</p> <p>今回の補正額は、教育費全体で2億2,717万8千円増額し、補正後の額を41億3,321万9千円にしようとするものでございます。</p> <p>内訳ですが、第2項 小学校費を2,491万円、第3項 中学校費を1,998万2千円、第5項 社会教育費を2,085万4千円、次のページにございます第6項 保健体育費を1億6,143万2千円、それぞれ増額いたします。</p> <p>次に、5ページをお開きください。</p> <p>第2表 継続費補正についてでございます。</p> <p>第10款 教育費 第5項 社会教育費 事業名 自然の家解体事業につきましては、総額が1億2,960万円、年割額は、平成30年度が1,944万円、31年度が7,776万円、32年度が3,240万円の新規計上でございます。</p>
----------------------	---

続いて、内訳について御説明申し上げます。予算書の30ページを御覧ください。

第10款 教育費、第2項 小学校費、1目 学校管理費、補正額 2,491万円は、「小学校施設環境整備事業」を増額するもので、今年6月、大阪府北部で発生した地震による小学校ブロック塀倒壊の事故を受け、小学校9校にある通学路に面した不適格ブロック塀の撤去・改修工事を行うための経費でございます。

次に、31ページを御覧ください。

第10款 教育費、第3項 中学校費、1目 学校管理費、補正額 849万8千円は、「中学校施設環境整備事業」を増額するもので、中学校4校にある通学路に面した不適格ブロック塀の撤去・改修工事を行うための経費でございます。

次に、32ページを御覧ください。

第10款 教育費、第3項 中学校費、2目 教育振興費、補正額 46万8千円は、「部活動指導員配置事業費」を新規計上するもので、中学校の部活動において技術的な指導に従事する部活動指導員の配置が制度化されたことから、北中、角野中の2校に専門的知識・技能を有する部活動指導員を配置することにより、競技力の向上、教員の負担軽減を図るものでございます。

次に、3目 学校建設費、補正額 1,101万6千円は、「中学校空調整備事業」を新規計上するもので、中学校10校の普通教室109教室、特別教室103教室への空調設備の整備に向け、実施設計を行う経費でございます。

次に、33ページを御覧ください。

第10款 教育費、第5項 社会教育費、1目 社会教育総務費補正額 1,944万円につきましては、「自然の家解体事業」を新規計上するもので、老朽化などの理由により廃止予定である「銅山の里自然の家」の解体工事を行うため、3か年総額1億2,960万円の継続費を設定し、平成30年度分を計上するものでございます。

次に、7目 総合文化施設費、補正額 141万4千円は、「いいはまSDGsアート・フェスティバル開催事業費」の新規計上で、来年の秋に開催を計画している「持続可能な開発目標(SDGs)」をテーマとした子どもたちを対象とした国際公募型美術展に向け、実行委員会を組織し、事業の周知・広報を行うための予算でございます。

次に、34ページを御覧ください。

第10款 教育費、第6項 保健体育費、1目 保健体育総務費、補正額 100万円は、「あかがねマラソン大会開催事業費」を増額するもので、本年12月2日に開催する「第2回あかがねマラソン」において、ふるさと映画「ふ

	<p>たつの昨日と僕の未来」のプロモーションを行うための経費でございます。</p> <p>次に、3目 体育施設費、補正額1億6,043万2千円は、「ホストタウン推進事業」を新規計上するもので、ホストタウン相手国のサウジアラビアとの2020年東京オリンピック事前合宿の基本合意締結のための旅費や通訳・現地ガイドに係る経費、市民体育館1階の駐輪場に、国際ウエイトリフティング連盟の基準に適合した新たな重量挙げ練習場を整備するための工事費、シャフト等の備品購入費などの経費を計上いたしております。</p> <p>以上で、平成30年度一般会計補正予算第2号に伴う専決処分についての報告を終わります。</p>
関教育長	ただ今の説明について、何かご質問、ご意見等はございませんか。
伊藤委員	中学校の部活動指導員は何人でしょうか。
井上学校教育課長	中学校の部活動指導員は2名です。北中学校1名、角野中学校1名です。北中学校がバレーボール、角野中学校がサッカーの指導員です。
関教育長	他に何かございませんでしょうか。 それでは次にいじめ・不登校等生徒指導に移ります。事務局から説明をお願いいたします。
田中次長	<p><資料に基づき説明></p> <p>1 不登校について</p> <p>2 いじめについて</p> <p>3 交通事故について</p> <p>4 不審者情報</p> <p>・先日市内中学生の行方不明情報が発表され、発見された際の通知について協議をした。行方不明の高齢者が発見された場合はその旨の情報を市民に通知しているということから、市内小・中学生の行方不明の場合も同様の対応をとるように今後手続きを進めていくという結論に至った。</p>
関教育長	<p>それではその他に移ります。</p> <p>「平成29年度決算について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
桑原総括次長兼文化振興	平成29年度の教育委員会関係の決算について御説明をいたします。

<p>課長</p>	<p>お手元に、「平成29年度決算と主要な施策の成果等に関する説明書」及び「年度別教育関係歳出決算」の表をお配りしております。</p> <p>「年度別教育関係歳出決算」の表で御説明いたしますので、表の方を御覧ください。</p> <p>まず、教育費についてでございます。右から2列目が平成29年度の決算額となっております。</p> <p>決算総額でございますが、表の下から3行目、45億8,417万5千円でございます。前年度が49億5,709万5千円でございますので、3億7,292万円、7.5%の減となっております。</p> <p>また、予算額48億7,489万3千円に対する執行率は94.0%です。</p> <p>また、表の下から2行目、平成29年度の一般会計の決算額は、496億6,838万7千円となっており、表の一番下にありますように、教育費の割合は9.2%でございます。前年度は、大生院小学校のプール改築工事、泉川小学校南棟大規模改修工事等があり、前年度と比べると1.4%の減となりましたが、平成27年度までと比べると、高い数字となっております。</p> <p>裏面を御覧ください。右から2列目が平成29年度の決算額となっております。</p> <p>まず、民生費、放課後児童クラブに関する決算額は、1億671万5千円、執行率は95.0%となっております。</p> <p>次に、介護保険事業特別会計、高齢者生きがい創造学園講座事業費の決算額は、818万6千円、執行率は98.7%となっております。</p> <p>次に、災害復旧費についてでございますが、平成29年度も該当がありませんでした。</p> <p>次のページに、年度別の教育費の費目別決算をグラフ化したものを示しております。また、事業ごとの詳細につきましては、別冊の「平成29年度決算と主要な施策の成果等に関する説明書」に、教育費については145ページ以降、民生費の放課後児童対策費については50ページ、介護保険事業特別会計については215ページ以降に記載されておりますので、また後ほど御覧ください。</p> <p>以上で「平成29年度決算について」の説明を終わります。</p>
<p>関教育長</p>	<p>ただ今の説明について、何かご質問やご意見等ございませんか。他に何かございませんか。</p>
<p>桑原総括次長兼文化振興課長</p>	<p>補正予算の説明でも少し申し上げました、「にいほま SDGs アート・フェスティバル」について、概要を簡単にご説明いたします。お手元に企画(案)を</p>

お配りしていますので、4ページをお開きください。

まず、会期は、来年の9月～10月、あかがねミュージアムで、主催は実行委員会でございます。下から5行目を御覧ください。

17のSDGsをテーマとした国際公募展で、来年の秋に第1回を開催した後は、2年に一回の開催とし、出品作品はすべて展示をいたします。対象は小中学生ですが、国際公募展ですので、国内、世界からの出品も想定しています。5ページを御覧ください。

電子データでの出品も想定し、まずは絵画、映像の分野から始めたいと考えております。つまり初回は、彫刻などの運送が大変なものについては除こうと考えております。

賞は、事務局案としては、大賞、準大賞のほか、真鍋博、広瀬幸平、伊庭貞剛、鈴木馬左也、鷺尾勘解治、白石誉二郎という先人にちなんだ部門賞を考えております。

次の資料は、実行委員会の規約案、そして、次に実行委員の案を付けていますので、御覧ください。実行委員には、あかがねミュージアムの青柳名誉館長、市長、教育長、文化協会、小中校長会等のほか、新居浜ユネスコ協会、国際協力機構(JICA)四国支部、えひめグローバルネットワーク、四国地方ESD活動支援センター、愛媛新聞社様にも実行委員会に加わっていただく予定でございます。

次のページには、審査員の案、アドバイザーの案を付けております。美術の専門家、学識経験者の皆様にご協力をいただきます。また、事務局は、美術館とあかがねミュージアム運営グループ等で構成します。

最後に、スケジュール案を付けていますので、御覧ください。

今月、9月26日に、第1回実行委員会を予定しております。今ご覧いただいている企画案を実行委員会にかけまして、最終的に設定し、事業をスタートしていく考えでございます。11月に第2回実行委員会を開催して、来年、平成31年1月から、事業広報を開始したいと考えております。そして、来年度ですが、4月から作品を受け付け、6月末に締め切ってその後審査、9月～10月に第1回展を開催したいと考えています。

国際公募展ではございますけれども、いきなり全世界から、ということにはならないとは思いますが、実行委員の皆様にもご協力いただきながら、少しずつ、大きな展覧会に育ててまいりたいと考えております。簡単ではございますけれども、SDGsについて9月から進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で説明を終わります。

関教育長	何かご質問やご意見等はございませんか。
宮内委員	5 ページに真鍋博、広瀬宰平、伊庭貞剛という名前がありますけれども、要するに1～17まで番号が振ってあり、例えば16番を選べば、平和部門の真鍋博賞が出てくるといったことなのですよ。
桑原総括次長兼文化振興課長	仰る通りでございます。SDGsの17項目の、例えば16番目の「平和と公正をすべての人に」という項目がありますけれども、これをテーマとして応募してくださった方の中から真鍋博賞は選定されるということになります。
宮内委員	では部門賞を得た方が、大賞や準大賞の資格を得るようになるのですか。
桑原総括次長兼文化振興課長	大賞、準大賞、部門賞という順ですので、大賞、準大賞と、部門賞は重ならないのではないかとと思いますが、実行委員会の協議で今後決めていきます。
宮内委員	では市民の皆さんが応募するときは、私は10番で応募する、15番で応募する、というように応募者がテーマを自ら選択して応募するようになるのですか。
桑原総括次長兼文化振興課長	そうですね。部門賞が限定されますので、そのテーマでの応募が多いたらうとは思いますが。
本田委員	これは1回きりの展覧会ですか。
桑原総括次長兼文化振興課長	お手元の企画案の4ページの下から3行目にビエンナーレという言葉がありまして、2年に1回開催するという方式をビエンナーレと呼びますので、事務局としては、1回目は来年、2回目はその2年後に開催する旨、提案しようと思っております。
近藤委員	応募の締切りが6月末ということになると、小学校や中学校は絵の宿題で夏休みに描いて、9月に提出というのが多いと思うのですが、6月末締切りだと新居浜からは作品数が減ってしまうのではないかと心配があります。

<p>桑原総括次長兼文化振興課長</p>	<p>最後の展覧会の日からの逆算ということになりますが、実行委員会の中で協議したいと思います。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>応募された作品を全部展示することなのですが、その後作品は、お返しするのですか。それとも賞を受賞したものだけ新居浜市で預かって、例えば何年か後の展覧会まで展示するのですか。膨大な量の作品があると思うのですが、作品をどうするかといったことも考えていた方が安全かと思います。</p>
<p>桑原総括次長兼文化振興課長 関教育長</p>	<p>その点については、まだ協議途中ですので、実行委員会の方で協議します。</p> <p>6月末時点で締切りということになれば、学校の授業として作品を生徒たちが描くことも想定されるのですか。SDGsの関係で、新居浜市はみんな提出するという場合によってはあるのですか。</p>
<p>桑原総括次長兼文化振興課長 関教育長</p>	<p>そちらも今後協議していただくようになります。</p> <p>他に何かご質問や、ご意見はございませんか。 それではその他の内容で何かございませんか。</p>
<p>安藤学校給食課長</p>	<p>学校給食課の安藤です。ただ今お手元に資料をお配りいたしましたので、今年度小・中学校の給食費について見直しを行うことといたしましたので、ご説明申し上げます。</p> <p>新居浜市における学校給食費につきましては、平成21年9月に現行の小学校が240円、中学校が280円に改定し、平成26年消費税の引き上げに際しても、価格を据え置いてきました。現在までの本市における給食費の推移は、2ページのとおりでございます。改定額の幅は10円から40円となっております。</p> <p>改定以降10年近く経過し、物価上昇の影響で、副食費に使うことができる費用が改定当時と比較して約1割減少しており、文部科学省が定める「学校給食実施基準」を満足する栄養価等を確保した献立の作成に苦慮しており、現行の給食費の中でのやりくりは、非常に厳しい状況にあります。</p> <p>このようなことから、今年度、小・中学校の給食費について、見直しを行い、適正な給食費の在りようについて、検討することといたしました。</p> <p>具体的な見直し作業についてでございますが、学校給食の運営・管理にあたる新居浜市学校給食会が組織されております。6ページに学校給食会の会</p>

則の抜粋を添付しておりますが、第25条では適正な給食費の設定について調査審議するための諮問機関として運営審議会を設置することといたしており、学校給食会が運営審議会からの答申を受け、その結果を教育委員会へ議案として提出し、議決を得たのち、小・中学校等を通じ、保護者の皆様への周知を図りたいと思います。

現在までに、学校給食会理事会において、給食費の見直しについて了承を得たのち、小学校、中学校の校長会や新居浜市PTA連合会の単位会長会などで現状を説明し、見直しについての理解を求めてまいりましたとともに、学校給食運営審議会要綱第2条の規定に基づきまして、審議会委員の委嘱を行ったところでございます。具体的なスケジュールや審議会委員の構成員については、5ページに記載しておるとおりでございます。今月20日を予定しておりますが、第1回審議会を開催いたしまして、議論を深めてまいりたいと思います。

次に、具体的な給食費の見直しについてでございますが、3ページの小・中学校給食費の推移の内訳をご覧ください。給食費はご飯やパンの主食、牛乳及びおかずや汁物、デザートなどの副食費に大別されます。

値上げをした次年度の平成22年度と平成29年度を比較してお判りいただけるように、主食と牛乳の物価上昇のため、副食費が小学校で11.93円、中学校で18.08円、それぞれ減少しています。

4ページの資料③をお目通し願います。県内他市町の今年度の給食費については、小学校では、今治市（旧今治市）の220円、中学校でも今治市（旧今治市、旧朝倉村、旧菊間町、旧大三島町）の250円が最も安く、最も高いのは、小学校では、大洲市（旧河辺村）の276円、中学校では久万高原町（旧美川村）の320円です。その中で、新居浜市の給食費は東部3市ともに同じ金額なのですが、240円、280円というのは、県内の平均的な価格となっております。

なお、今治市の給食費が安価な理由といたしましては、青果の取引価格が本市の約半額であり、理由としては、地場の農業者団体等から、地域の子どもたちには地域の食材を食べさせてやりたいという強い思いで、安定かつ大量な供給を受けていることを確認しました。本市の農業従事者の経営規模等の実情及び、学校給食においても、地産地消を推進していることなどから、副食費について、同様の価格帯で取引が可能になることは困難であると思われる。

さらには、本市に隣接する四国中央市及び西条市とは小・中学校ともに現状の給食費は同額であり、今の給食費で献立、食材確保に近年非常に苦慮している両市とも、今年度に見直し作業を行うとの情報も得ています。松山市

	<p>におきましても今年進めていくという情報は得てはませんが、各学校の栄養士の共有情報としては、同じようにこの価格では限界があるというお話は聞いています。今年もそうでしたが、1学期に3日間給食がストップするという事態の中で、生徒たちからは給食費はいただけないのですが、事前に調達していた食材については使えないもの、こちらが買い取らなければいけないものも出てきております。今回のように台風で1日休むということがあったら、農産物を提供していただける日本各地の農業地で被害が出ているところがありますので、昨年冬のよう価格が高騰していく可能性もあります。その中で何を削ればいいのかとなると、牛肉、豚肉は出せずに鶏肉で我慢しなくてはならない、ですが栄養価を考えれば出さなければならぬという時に、一番削られるのはデザートや果物です。今年4月から学校給食課へ異動となりましたが、これらは月に数えられるほどしかありません。子どもが喜ぶ給食という点で考えると限界がきていると思います。</p> <p>9月20日の第1回審議会の後、速やかに11月以降に教育委員会定例会で議案を提出させていただきますが、皆様に議論いただいた後、価格について決定したいと思っております。先程にも申し上げましたが、今後開催する学校給食運営審議会からの答申を受け、給食費の改定について議案を提案いたしますので、よろしくお願ひします。</p> <p>以上で、給食費の見直しに関する説明を終わります。</p>
関教育長	ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。
宮内委員	そろそろ消費税が上がることも懸念されているので、消費税を上げたから給食費もすぐ上げる、というのは難しいと思います。消費税が上がる可能性も含んで値上げ設定をした方が無難かなと思います。
安藤学校給食課長	現在時点で、財務省などの資料による来年の10月に消費税を10%に上げるという話が出ていますが、軽減税率が適用されるということですので、食料品については現状の8%のままであると思うので、来年の4月に給食費を上げれば、来年の10月消費税率アップに対して、圧迫されるという心配はないように思います。
本田委員	前回の改定の際は学校側として関わらせていただいたのですが、前の改定時は平成21年だったのでかなり我慢して、約10年間値上げがなかったということと消費税の関係もあって、今回は上げざるを得ないと思います。他市も同じく苦しい状況だとして説明すれば、保護者の方も納得していただける

<p>安藤学校給食課長</p>	<p>と思いますので、現在同額の西条市、四国中央市と給食費を上げたときの額についても情報交換をしていただきながら、この値上げを考えていただければと思います。</p> <p>それについては四国中央市、西条市の方からも、新居浜市はどういう考えか、とお話しがきています。3ページの内訳が我々の給食費の改定の案の素となる数字なのですが、基本的には最低でも平成22年で食べられたような額にはしていきたいと考えています。平成31年の推定で平成22年度水準の副食費を確保しようとするると給食費は小学校で260.39円、中学校で309.99円という値となっております。県内の他市の情報を見ると300円を超えている市はまだ少ないという現状です。小学校、中学校共に、基本的に保護者負担を考えますと、両方とも20円ずつの保護者負担のアップを考えており、西条市、四国中央市も同じような話でお伺いしています。両市ともそれは確定ではなく、今後議論の中で決まっていくものと思いますが、とりあえず横並びの数字にはなると思います。</p>
<p>関教育長</p>	<p>他に何かご質問やご意見等はございませんか。 給食費は助成している市はどこもないですか。</p>
<p>安藤学校給食課長</p>	<p>給食費本体に助成しているところは公約を掲げている宇和島市です。無料という話までにはたどり着いていないので、1人当たり80円～100円助成しているのが1市あるだけです。あとは新居浜市の場合ですと、まずは各学校でご飯が炊けない学校が小学校にも中学校にもあるので、新居浜給食センターへ委託して炊いてもらっています。学校で炊く価格と炊いてもらう価格では差額が出てきますので、各学校で炊く額を超えた部分については各学校について差額を助成しております。各市町でしているものとしては地産地消があり、各市町で採れたものを使う場合にあっては1品〇円、という形での助成をされているところもありますが、実際の給食費の助成をしているのは宇和島市のみということになります。全国レベルで無償化している市は100ないと思いますし、無償化しているところの給食数でいうと800を超えるような給食数のところはほとんどないので、本当に小さな町や村でないと無償という取り組みはされていないという結果になっています。</p>
<p>本田委員</p>	<p>新居浜市の場合は未納の保護者に対して、市として関わっていただいて、前回の値上げの時も未納金が多いと給食費は圧迫してくるようになりますので、学校としても大変困っていたのですが、前回の改定の時以来、市で色々</p>

安藤学校給食課長	<p>と未納のご家庭については支援していただいているので、とてもありがたいと思います。</p> <p>それにつきましてはまた、今後も学校側が中心となって督促はかけていただいているのですが、悪質な件については弁護士と協議の上、こちらから提起させていただくことは継続いたします。</p>
伊藤委員	給食費で支払いをされているのは食材代ですか。
安藤学校給食課長	はい。
伊藤委員	<p>今治市の場合では、100%地産地消で、全て学校の給食室で調理しているとお伺いしています。建設費や維持費についてはありますが、費用が低減できるということで新居浜市はセンター化を目指したわけですから、新居浜市にとって、今治市を例に挙げるのはあまりよくないと思います。尚且つ、子どもたちにとって今まではすぐ近くに給食室があって温かいものもすぐ食べられていたのに、今後は離れているところから運ばれてくるということで、サービスは低減していくのに給食費は高くなるのかという意見も出る可能性があるのでは、皆さんによくご説明をしてご理解いただいた上で、ということであれば問題ないと思います。</p>
安藤学校給食課長	<p>地産地消が100%というのは少し違うところがありますが、今治市の場合は給食室でほぼ手作り、デザートも手作りしておられると伺っておりますが、その点は今治市が昔からずっと伝統を守っているということですので、大変素晴らしいと思います。松山市や西条市となると全て手作りではないところもありますし、確かに今の給食センターでは3200~3300食作るという兼ね合いの上、全てが手作りできないという現状はありますし、今後新たに学校給食センターを2施設建てた場合でも同じ話になってこようかと思いません。一番心配しているところというのは、今までは目に見える形で給食を提供していたのが、給食は誰が作って、どんな形で配ってくれるというのが子どもたちから見えなくなるという点で心配はしております。その点については栄養教職員を始め、どういった形で食育を進めていくのが大切かと協議しながら進めたいと思います。給食費の値上げにつきましては市のPTA联合会でも今治市との価格差の質問は多かったですが、現状をお話しすると強い反対の声はなかったように思いますし、その後6月のPTAの会議でお話しさせていただいてその時にも、学校の会でもこのお話をしているかと聞かれ、値</p>

<p>関教育課長</p>	<p>段は決定してはいませんが給食費の見直しをしているというお話はして構いませんとお伝えしましたが、このことに対する要望等は学校側からまだ受けてはいません。</p> <p>結局センター方式にして、伊藤委員が仰ったようにコスト的にはダウンしますよね。ダウンしたその分を子ども、保護者達に何らかの形で還元しようというのは現時点で考えていませんか。</p>
<p>安藤学校給食課長</p>	<p>財政当局などと検討する必要があるかと思いますが、それだけかかるといのが減るだけで、かかっていた予算がそれだけ減るということではないので、実際、今かかっている予算で減るのが、小・中学校がご飯を給食センターにお願いして炊いているお金であり、これはセンター化になれば減るお金であり、何百万というお金になっていきますので、それについてどう生かしていけるかを考えるとともに、それを足して何か、一品でも食育の日を設けて地産地消を使いながら献立を作成する話は進めていきたいと個人的には思っています。</p>
<p>関教育長</p>	<p>今の学校内にある給食室を将来的に改築しなければいけないと、そのために必要なコストは当然かかると思うのですが、その場合とセンターを対比したときにどれだけコストが浮くか、というのが論点ではないのか。</p>
<p>安藤学校給食課長</p>	<p>財政サイド、企画サイドがそれを認めていただけるか信用していませんが、現実に関かかっているお金の中で減らせる部分というのは、委託の部分だと思いますし、そこは是が非でも死守したいと思います。</p>
<p>関教育長</p>	<p>だまし討ちにならないですか？</p>
<p>安藤学校給食課長</p>	<p>これだけ削減するからそれに関する費用はこちらに配分しようという話なのですが、それがそのまま通るかという自信はないです。</p>
<p>関教育長</p>	<p>審議会やPTAなど市民からそういう意見が出たのですか。それで初めて俎上に乗るのですか。</p>
<p>安藤学校給食課長</p>	<p>今年度既に4日間、警報等の関係で給食が中止になっていますが、その日に使う予定であった発注済みの食材について、業者に支払いをしなければならぬ費用は、現在は集めた給食費の中から工面しており、その分、副食費</p>

伊藤委員	<p>にしわ寄せがきています。</p> <p>この部分については災害対策の費用という名目で、学校給食課で、例えば、この減らせる委託部分の予算を充当するような形で財源を確保して支払いをすることとし、実際に子どもたちから集めた給食費は、子どもが食べる分だけに充てるようにできれば、と考えていまして、私はこの部分を今すぐ確保したいと思っています。</p> <p>ご苦労されているのは分かります。上げるということであれば仕方ないと思うのですが、反対意見がある中でセンター化を進めていった背景には、毎日、人件費等がかかるということがありますよね。保護者を含め、市民から見るとどの予算が何に使われるというのは恐らく分からないと思うので、どうして市が全体としてそういうことするのか、何故サービスが悪くなる上に値上げするのかという意見が市民から出てくるのが強い時期だと思いますので、よくご説明できるように資料などを作成して、ご理解いただいた上で進めていただければと思います。</p>
関教育長	<p>他にございませんか。</p> <p>それでは、その他の内容で何かありませんか。</p>
曾我次長兼発達支援課長	<p>発達支援課でございます。教育委員さんのお手元にふれあい運動会のご案内を配付しております。今回は9月26日に市民体育館で開催いたします。小・中学校の特別支援学級の児童生徒全員で180人ほどいますので、ご参加いただければと思います。よろしく願いいたします。9時から12時と記入しておりますが、開会式は9時30分からです。9時20分前ぐらいにお越しいただければと思います。お願いいたします。</p>
関教育長	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>他に何かございませんか。</p>
井上学校教育課長	<p>学校教育課井上でございます。新居浜市立神郷幼稚園と王子幼稚園の2園の今後の方向性についてご報告いたします。1月16日、7月25日、8月30日に新居浜市 今後の学校の在り方に関する検討委員会を開催しました。その中で、新居浜市立幼稚園の今後の在り方に関して協議検討を行いましたところ、次のように方向性がまとまりました。1園を廃止し1園を存続すること、ただし、その園の選択はこの委員会では行わないという方向性をいただいております。その中で意見としまして、市が存続する1園を決定し、</p>

	<p>その1園が更に魅力ある園として発展するように明確なビジョンをつくること。2点目に、インクルーシブ教育の推進は大事にすること。3点目としまして、園児募集の停止の時期は早くても平成32年度の募集時からとし、それまでの間、保護者への丁寧な説明が必要であること。4点目として新居浜市教育委員会と私立幼稚園の間の申し合わせ事項については、私立と公立が共存を図るということから、この機会に見直しすること。5点目としまして、存続した1園の園児数の減少に歯止めとならなかった場合は、再度話し合いが必要であり、問題点を整理して議論することという意見をいただきました。以上になります。</p> <p>ただ今の説明について何かご質問やご意見等はありませんか。</p> <p>今後の学校の在り方に関する検討委員会の中で、小・中学校の在り方議論の前に公立幼稚園に関しての議論を進めてまいりました。その中で、現在定員数の4分の1ほどの王子・神郷の園児数でございますので、できればその方向等を考えていただきたいと投げかけました。その結果、ほとんどの皆さんの意見が1園を残して、1園は廃止の方向で考えるべきではないかというご提言を現在いただいております。それを踏まえまして今後教育委員会の中でも議案として議論し、さらには、パブリックコメント、財政サイドとの協議等といったものは今後想定されますので、今、委員さんの中でご意見がありましたら次の会にもそのご意見を踏まえて議論していきたいと思っております。皆様も同じような方向性のご意見でしょうか。</p>
関教育長	
近藤委員	<p>この内容だけでは意見し難いです。</p>
関教育長	<p>また色々な情報を来月以降から委員の皆様方に提供していただろうと思っておりますので、ご意見をいただければと思います。</p> <p>他に何かご意見はございませんでしょうか。</p> <p>それでは次回の定例会の日程を決めたいと思っております。第1木曜日は10月4日となりますが、ご都合はいかがでしょうか。</p> <p>それでは次回の定例会は10月4日の木曜日、15時からといたします。</p> <p>ただ今をもちまして平成30年第9回新居浜市教育委員会定例会を閉会いたします。</p>

新居浜市教育委員会会議規則第13条の規定により署名する。

委員名

委員名